

まちづくり ニュース

ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

192号

2017年7月26日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 朝日新聞の広告

7月15日の朝日新聞に載った国交省の全面広告が話題になっています。これは他紙にはないので不思議なのですが、朝日と博報堂がタイアップした「わかるわかる運動」の一環としての広告だとか。

問題なのは、矛盾だらけの国交省の説明と、「そうか！首都圏の空港の国際線を増やすことで、日本のさらなる国際化や豊かな暮らしを実現しようとしているんだね。」などという言葉で結論として、まるで国民の声であるかのように載せていることです。

折しも成田空港発のアメリカ行き旅客機が滑走路で大きな部品と破損したタイヤをまき散らしながら飛び立ちました。調布の死亡事故にたいする補償はどこからも未だになされていません。国民の安心・安全は無視？

○ 公開質問状は参考に

なりましたか？

7月2日の都議選に際し、立候補予定者の都心低空飛行問題などに対する考えを知ってもらうため、公開質問状を出すことにしました。

文面や送付・回収など一切をNさんが担当、ぎりぎりまで立候補するのか否かはっきりしない人もいて、23日の公示以後の配布は違反にならないか懸念され、一方、公示後投票日までの日にちは少ない、という難しい中で決行。何とか配布協力の皆さんが23日迄に191号を配布し終えて下さいました。

偶然かどうか、今回のアンケートに不回答の人は2人とも落選でした。以後の選挙でもやってみたいと考えています。

○ ときわ台駅復元

ときわ台駅の改修が行われていますが、80年以上親しまれてきた駅舎の維持保全が懸念されていました。

先日担当の東武鉄道の方と設計の方に会うことができ、私たちの80年記念の展示・講演会主催の活動や、南宇都宮駅との関連性から今秋にまた講演会を開く予定や駅舎保全の希望などを伝えました。

東武鉄道としては、具体案はまた変更があるかも知れないが、できるだけ開設当時の姿を復元する、という方針だそうですので安心しました。

ただ、当時の資料では色彩が解らず、窓枠の色など覚えている人がいたら教えて貰いたいとのことでした。

また、当時の小学校の夏休みの宿題か何かで、ときわだい駅の模型を作る課題があったそうです。もし物置の隅にでも残っていましたが、大変貴重な資料になると思いますので、ぜひお知らせ下さい。

常盤台の景観を守る会では2年に1度位のペースで常盤台の街の歴史を展示しています。

2015年には駅の80歳を祝って、「ギャラリー一服部」で展示会を行い、東武博物館名誉館長の花上嘉成さんと、鉄道総合研究所の小野田滋さんの講演を、中央図書館視聴覚室で催しました。

ここ数年のあいだに、新しく住民になられた人が増えたようなので、改修する駅舎の紹介を兼ねて、11月ごろ展示会を企画しようと思います。

常盤台のことはよく知っているつもりの人でも、意外な発見があるはず。歴史を知れば住んでいる意識が変わるかもしれません。みんなでこの環境を守りたいと思います。

石神井川にカワセミ

桜の名所になっている石神井川も、昔はよく氾濫したので、両側はコンクリートの絶壁となり、およそ自然とはかけ離れた光景になっています。時々鯉が白い腹を見せて浮いていて、魚も住めない汚さと思っていました。

最近ではカルガモの親子がいたり、ハト・スズメはもちろん、セキレイの雛が親に餌をねだっている姿もみられます。そこへ青緑のきれいな羽色の小鳥が飛んできて、なんとカワセミです！大発見と思い見回すと、橋のたもとでは二人のおじさんが大きな望遠鏡を別な方に向けています。野鳥観察の人達と見受けたので、カワセミが向こうにいますよ、と教えてあげたのですが、ああ、そうですか、と驚きもしないのです。彼らの話では撮っていたのは去年生まれた雛で、私が見つけたのは親の方、二、三年前からいるとか。餌となる小魚もいるのでしよう。繁殖までしていたのです。

このまま石神井川が清流を取り戻し、カワセミが物珍しさのカメラの放列にさらされずにのびのびと育ってほしいと思います。

平和公園のカルガモ

いつも六月には可愛い雛が見られる平和公園で、今年には生まれないのかと思っていました。近くの老人ホームの屋上の池で生まれたのや迷子になっていたのを、親と一緒に放したそうで、七月の今、九羽の雛が元気に泳ぎ回っています。

混成家族のせい、夕方になってもおとなの言うことも聞かず、雛たちが勝手に泳ぎ回っている、お母さん鴨は呆然としていました。

バザーの報告

七月二日の都議選の日に行ったバザーは、売り上げ八七〇〇円余り、寄付もありました。花づくりの会のマーマレードの売り上げは四八個で二四〇〇円になりました。

出品、お買い上げ、寄付、販売ボランティア、場所を貸して下さった方、皆さんの暖かいご支援に感謝しています。ニュースの紙代や講演会の開催費など、会の活動に有意義に使います。

今回は思いがけないものが出て、子供用のヴァイオリン二挺が提供されたのですが、売れるかどうか半信半疑でした。ところが自分で修理できると言う人が二つとも買いました。ヴァイオリンも再び活躍することができて、きっと喜んでいいると思います。

寄付は自由な心から

どんな活動にも資金が必要で、赤い羽根の赤十字、社会福祉協議会、歳末助け合い、国境なき医師団、あしなが育英会、ユニセフ等々寄付を求めている団体は多いのです。その幾つかの集金は町会に負わされて来ましたが、最近、自由であるべき寄付行為を地域団体が集めることは、半ば強制的に感じるというので、裁判になっていく例も出ています。今度一、二丁目町会が町会費とお祭りの寄付のみを集めることにしたのは当然ながら歓迎すべきことでしょう。

欧米のように寄付行為自体が、自由な気持ちでもっと一般的になれば、と思います。ついですが、お祭りの寄付の額別に名前を貼り出すのもそろそろ止めてはどうでしょうか。

常盤台公園のはなづくり

梅雨だというのにあまり雨も降らず、猛暑が早めにやってきたので、植えたばかりのサルビアやトレニアの苗がしおれかけています。特に日当たりの良い場所で、土質も水はけが良い上に、たまに降る雨は木の枝に遮られています。

ハナスベリヒユは乾燥に強いようで、こちらは元気に花を付けています。

ヒマワリが二三本あったのですが、一週間ほど前、雹が降った時に打たれて枯れてしまいました。

と言うわけで、今年の夏の花壇はあまり良い感じではないのが残念です。私たちの水やり能力を超えてこれほど乾燥がひどくなったのは、ここ数年のことではないでしょうか。地球温暖化と言う変化は、植物にとっても過酷な時代になってきたのかもしれない。

バザーではマーマレードを沢山お買い上げいただき、有り難うございました。マーマレードのためにわざわざ来られた人もいて、しつこく宣伝した甲斐がありました。今年は少なめに作ったので、リピーターの方用に十個ほど残っているだけになっています。市販のより薄味で保存料もないので早めに召し上がってください。また来年宜しく願っています。